

2024年(令和6年)2月9日(金曜日)



EMSの石綿管理システム 100社以上が導入、家電流通も

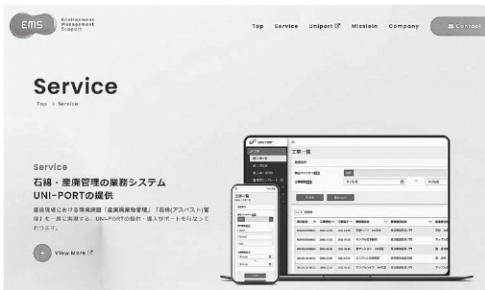
EMS（東京都港区）が提供する石綿（アスベスト）管理システム「UNI-PORT」の導入が急拡大している。背景には、昨年10月から有資格者による事前調査の実施が義務付けられたこと

がある。エアコン設置における電気工事も対象で、ビックカメラグループが導入するなど家電流通でも広がりを見せている。

2021年4月に大気汚染防止法が改正されたことにより、アスベストは段階的に規制が強化されてきた。22年4月からは100万円以上のリフォーム工事など比較的大型案件が事前調査の対象だったが、昨年10月からはエアコンの設置工事なども対象に。事前調査に基づく報告

書を作成、提出しなければならなくなり、作業記録の作成や保管など合わせて、事業者には煩雑な業務が増えてきた。それを報告まで含めて一元管理できるようになっているのがUNI-PORTだ。UNI-PORT事業部の原史明課長は「既に100社以上が利用しており、昨年10月以降はさらに

利用企業が増えた」と話す。UNI-PORTは企業規模に応じ、「ライト」「スタンダード」「エンタープライズ」を用意。例えばライトであれば、1アカウント・月額8500円（税別）で月20件まで工事を登録できる。原課長は「夏のアコン商戦で、報告書の作成や提出はかなりの手間になる」とし、早めの対策を呼び掛けている。



「UNI-PORT」を紹介するEMSのWebサイト

「UNI-PORT」を紹介するEMSのWebサイト。サービス概要として「石綿・健康管理の業務システム UNI-PORTのご案内」とあり、導入企業数やサービス内容が紹介されている。